




第6次野辺地町 まちづくり総合計画 後期基本計画

第3期野辺地町 まち・ひと・しごと総合戦略

2026年度(令和8年度) → 2030年度(令和12年度)

未来につなげる 幸せのまち のへじ

概要版



野辺地町は、豊かな自然と人のあたたかさに支えられたまちです。これからの5年間、町民のみなさんとともに「幸せを実感できるまちづくり」を進めていきます。

2026年(令和8年)3月

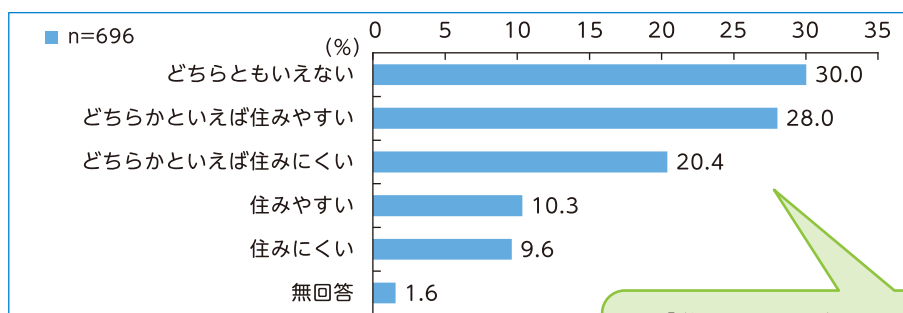
野辺地町

総合計画ってなに？

この計画は、野辺地町がこれから5年間（令和8～12年度）でどんなまちを目指すのかを示した“まちづくりの道しるべ”です。

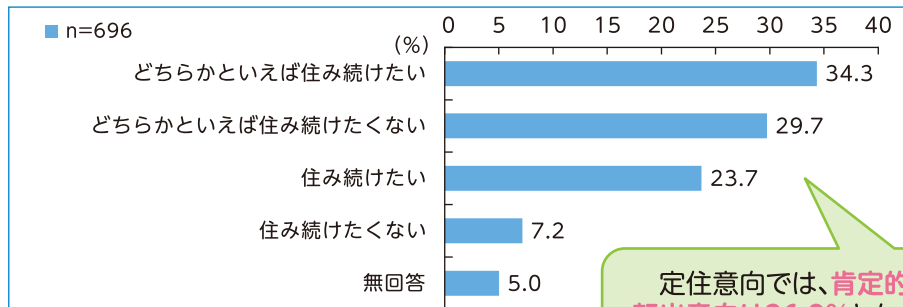
町民アンケートやワークショップなど、多くの声をもとに作成しました。人口減少や少子高齢化が進む中でも、一人ひとりが安心して、自分らしく暮らせるまちを目指します。

● 住みやすさ 18歳以上



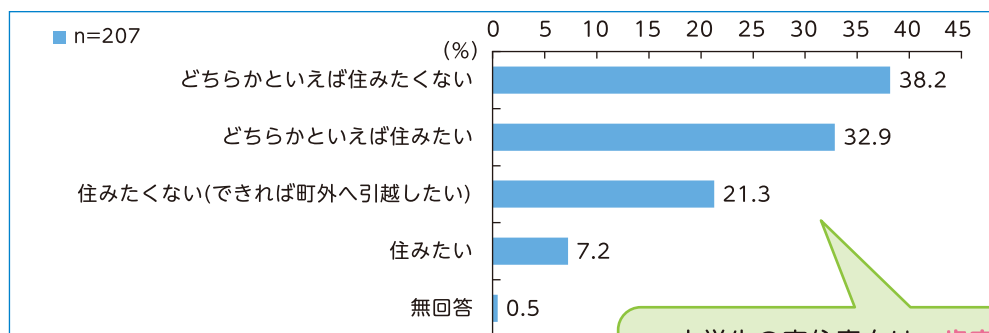
「住みやすさ」では、肯定的な意見は38.3%、否定的な意見は30.0%となっています。

● 定住意向 18歳以上



定住意向では、肯定的な意見は58.0%、転出意向は36.9%となっています。

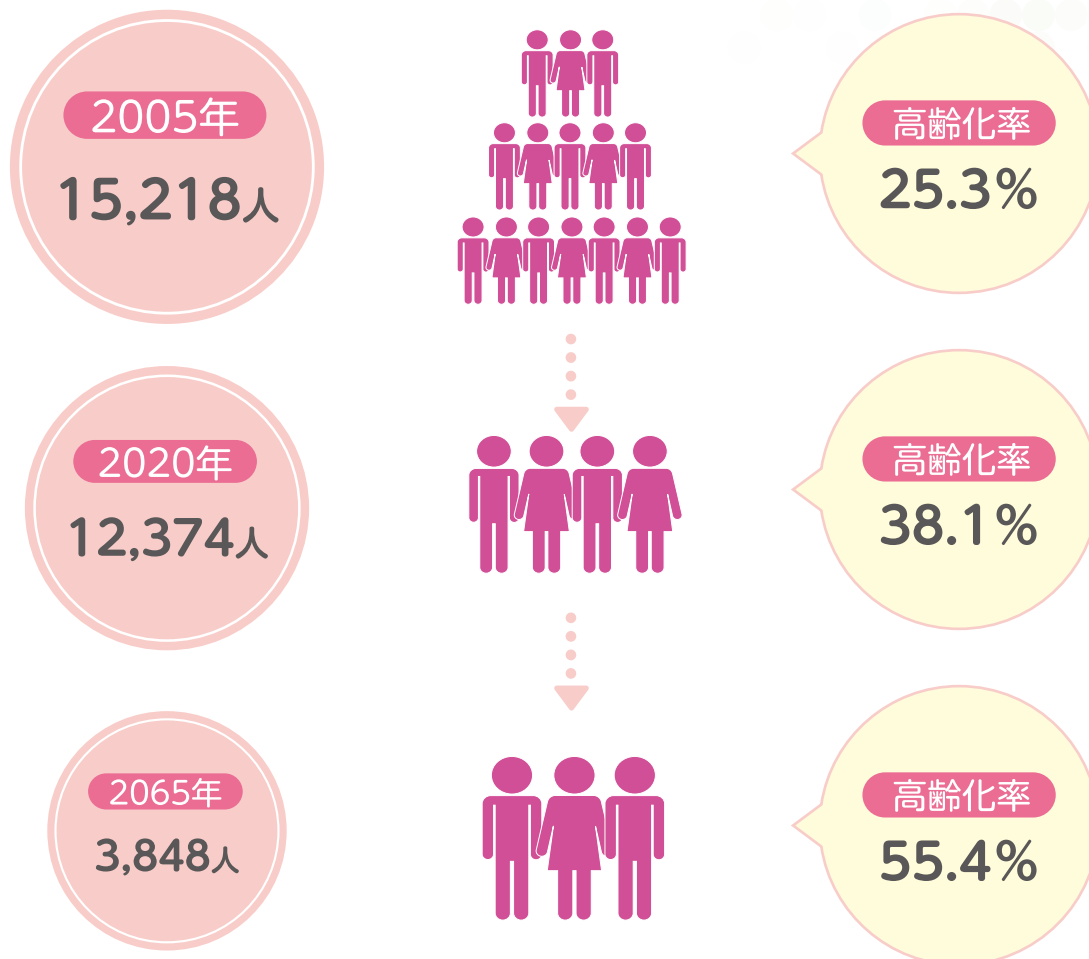
● 定住意向 中学生



中学生の定住意向は、肯定的な意見は40.1%、転出意向は59.5%となっています。

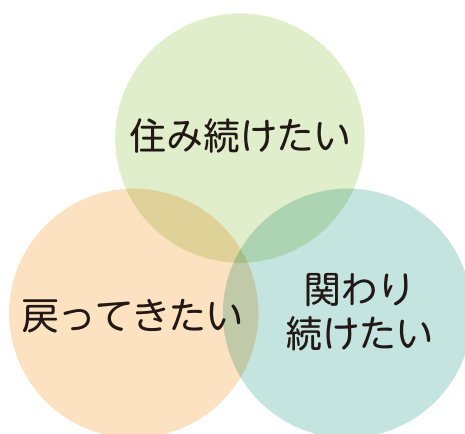
人口の現状とこれから

野辺地町の人口は、年々減少しています。特に若い世代の流出や出生数の減少が続いています。



(国立社会保障・人口問題研究所の推計による)

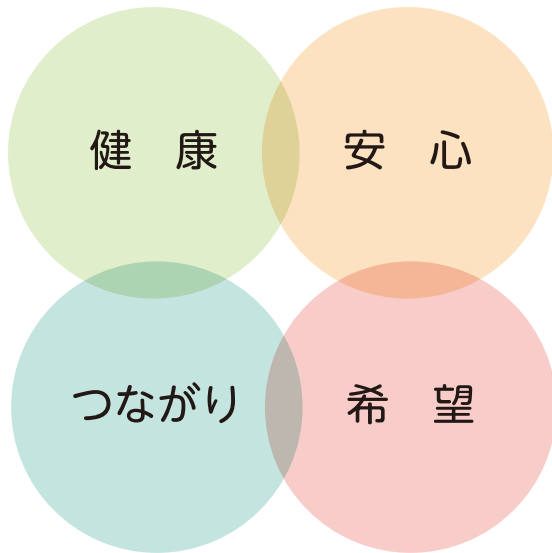
しかし、これからは「人口の数」だけを追いかけるのではなく、「暮らしの質」を高めることが大切です。



そう思えるまちをつくるのが、これからの人口戦略です。

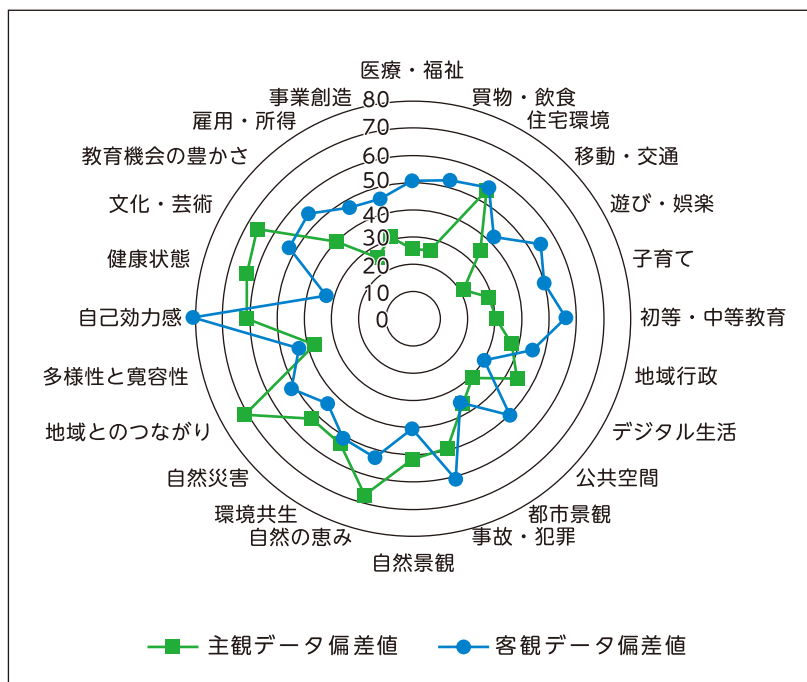
ウェルビーイングとは？

本計画ではWell-being (ウェルビーイング) の考え方を取り入れています。
 ウェルビーイングとは、「心も体も元気で、人とのつながりがあり、安心して自分らしく暮らしている状態」のことです。



これらを高めるまちづくりを進めていきます。

因子	主観	客観
医療・福祉	25.7	50.4
買物・飲食	25.2	52.1
住宅環境	54.4	55.0
移動・交通	35.0	42.2
遊び・娯楽	21.2	53.8
子育て	29.1	49.9
初等・中等教育	30.7	56.0
地域行政	37.6	45.2
デジタル生活	44.3	30.1
公共空間	31.0	50.0
都市景観	36.2	35.7
事故・犯罪	49.3	60.9
自然景観	51.6	40.3
自然の恵み	67.0	52.6
環境共生	52.5	50.4
自然災害	52.3	44.0
地域とのつながり	71.1	50.8
多様性と寛容性	37.2	42.9
自己効力感	60.4	80.0
健康状態	62.5	32.4
文化・芸術	65.3	51.8
教育機会の豊かさ	39.1	53.9
雇用・所得	25.9	46.6
事業創造	30.8	45.3



●主観データは町民アンケート調査結果を反映しており、
 客観データは各種統計データが反映されています。

6つの基本目標

① 支え合い切れ目のない保健福祉

子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らせるまち

地域福祉

子育て支援

高齢者福祉

障がい者福祉

健康づくり

② 工夫と連携の地域産業

地域の強みを活かし、働く場が広がるまち

農林業

水産業

商工業

観光

雇用等

③ 誰もが学べる教育

子どもも大人も学び続けられるまち

学校教育

生涯学習

スポーツ

文化芸術

交流

④ 住み続けたいくなる生活環境

安全で便利、快適に暮らせるまち

防災等

防犯等

道路等

上水道

土地利用

住環境

合併処理
浄化槽

⑤ 活用して保全する環境

豊かな自然を守り、未来へつなぐまち

自然環境保全

ごみ・リサイクル

⑥ メリハリのある行財政

みんなで支え、持続可能なまち

協働

広報広聴

行財政運営

広域行政

総合戦略

総合戦略とは、深刻化する人口減少と少子高齢化に歯止めをかけ、地域が特色ある持続可能な社会を創生するために策定する、5カ年の基本計画です。

◆人口減少への重点取組

① 地域経済の再興と雇用創出

地域産業の活性化や起業支援を進め、若い世代が町内で働き続けられる環境を整えます。

数値目標 (KGI)

指標名	現状値(令和6年度)	目標値(令和12年度)
年間観光入込客数(人/年)	172,975	300,000
ふるさと納税額(万円/年)	438.2	1,000

主な事業

- ふるさと納税推進
- のへじ祇園まつりを通じた交流人口・出会いの場の拡大
- 起業・創業支援 等

② 暮らしやすさの向上と定住促進

防災対策や空き家対策、移住支援などを進め、「住み続けたいまち」をつくります。

数値目標 (KGI)

指標名	現状値(令和6年度)	目標値(令和12年度)
移住者数(人/累計) (支援制度を活用した方又は町に移住相談経験がある方)	4 (前期計画期間累計)	10 (後期計画期間累計)

主な事業

- 防災力・防犯体制強化
- 空き家等関連支援
- モビリティ・マネジメントの実施
- 移住・定住促進のための環境整備・受入体制強化 等

③安心して子育て・暮らせる福祉・医療体制の強化

子育て支援の充実や医療体制の強化を進め、安心して子どもを育てられる環境を整えます。

数値目標 (KGI)

指標名	現状値(令和6年度)	目標値(令和12年度)
出生数(人/年)	34	現状維持

主な事業

- 育休・病休・看護休暇を取りやすい環境づくり
- 町民マッチョ化計画 等

④人材育成と郷土愛の醸成

ふるさとへの誇りを育み、将来の担い手を育てます。

数値目標 (KGI)

指標名	現状値(令和6年度)	目標値(令和12年度)
住民基本台帳に基づく15歳から39歳の人口割合(%/年)	18.8 (2025年1月1日)	18.8 (2031年1月1日)

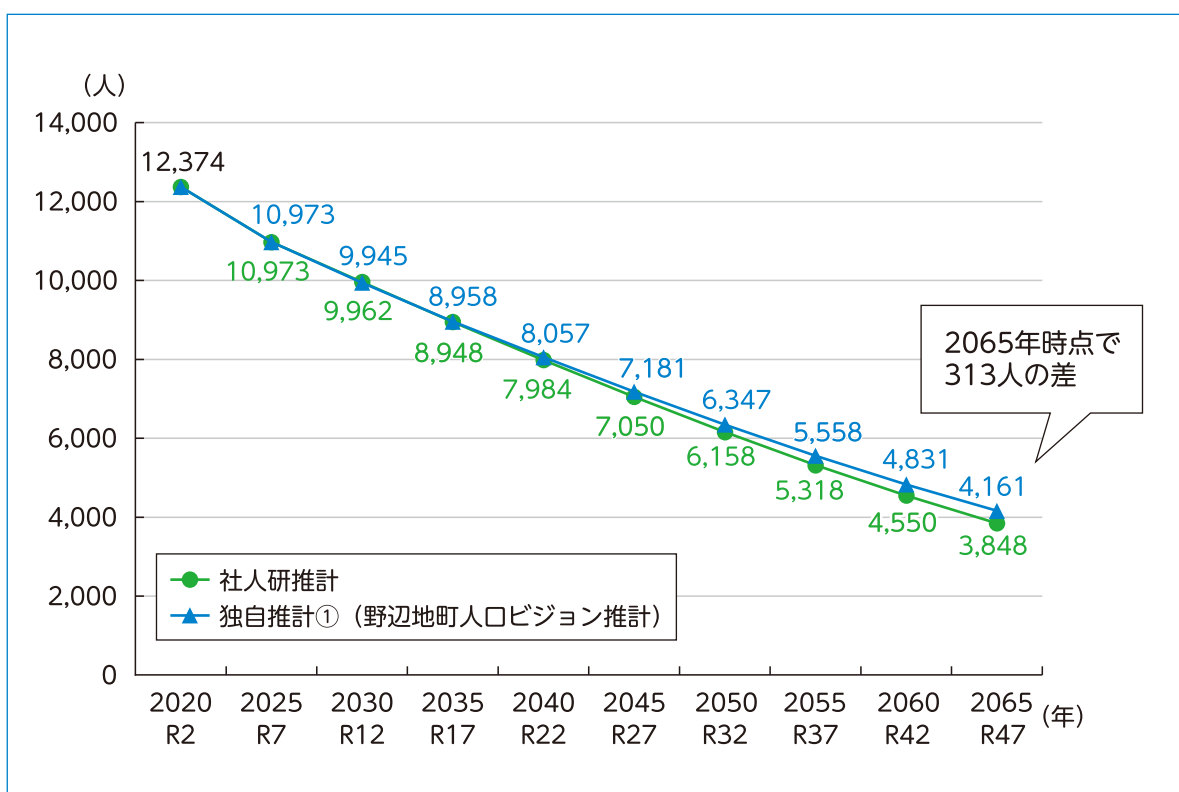
主な事業

- のへじ祇園まつりの担い手育成
- 生涯学習施設における新たな役割と価値の創出
- スポーツに親しむ環境づくりと競技力の向上 等

人口の将来展望

国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口では、本町の総人口は2065(令和47)年には、2020(令和2)年から▲68.9%減少し、3,848人にまで落ち込むと想定されています。

これに対して、対策を進めることにより、本町の総人口は2065(令和47)年には2020(令和2)年から▲66.4%の減少率で、約4,000人を維持することができる見込みです。



(野辺地町第3期人口ビジョンより)

第6次野辺地町まちづくり総合計画後期基本計画 第3期野辺地町まち・ひと・しごと創生総合戦略

概要版

【野辺地町役場】

〒039-3131 青森県上北郡野辺地町字野辺地123番地1
TEL:0175-64-2111(代表) FAX:0175-64-9594